

利用領域報告

中京大学
生命システム工学部
長谷川明生



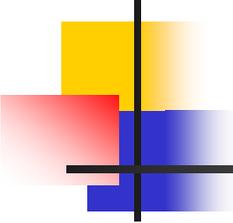
利用領域のミッション

- 電子情報通信学会WGでの作業をベース
- ネットワークセキュリティからセキュリティ全般
 - 特に大学における利用者に配慮
 - 教員と学生
- 情報システム利用に関する規程と手順
 - 利用規程雛形
 - 手順書雛形



利用領域検討上の問題点

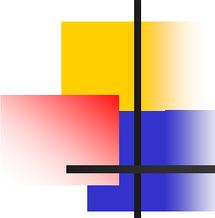
- 政府基準と大学の差異
 - 事務系の情報取り扱いと教職員
 - 教職員はあるときは事務担当者
 - 学生の扱い
 - 情報のラベリングや管理の問題
 - 研究情報
 - 事務情報



検討経過

第1回会合(2006年9月8日)

- 論点整理
- テーマ決定
- 分担決定
- 第2回会合
 - 分担成果持ち寄り
 - 内容検討と持ち帰り再編集
- 随時MLで議論



利用領域の文書構成

A2201 利用規程	A3201 PC取扱い手順
	A3202 電子メール手順
	A3203 ウェブブラウザ手順作成手引き
	A3204 Web公開手順
	A3211 学外情報セキュリティ水準低下防止手順
	A3212 自己点検の解説書



利用領域の課題

- Web関係手順の完成
 - ブラウザ手順と学センターや研究室サーバでの公開
- モバイル対応
- 末端でのソフトウェア管理
- 監査対応
 - 事務系システムの監査は明確
 - 研究室レベルはどうするか？

6. 利用領域

幹事 長谷川明生、幹事補佐 小川賢

6.1 検討課題

政府機関統一基準も含めて、論点整理と利用者規程の内容を抽出し、検討する。

6.2 検討経過

第1回領域分科会会合（9月8日）では今年度の活動範囲と取り上げる内容について緊急度および作業量の点から検討し、作業分担を決めた。第2回会合（11月14日）は検討結果を持ち寄り具体的に検討し、修正項目、編集方針について検討した。以後、随時メーリングリストで議論を進め最終稿を用意した。

6.3 検討内容の概要

情報システムの利用者が遵守すべき規則や利用方法について利用者の権利と責任の観点から検討し、以下の項目について利用規程および手順書の雛形等の作成を行なった。

・規程作成

情報システムの利用に関する事項に関する規程として「A2201 利用規程」を作成した。

・関連手順書作成

PCの取扱いに関する事項に関する手順書として「A3201 PC取扱い手順」、電子メールの利用に関する事項に関する手順書として「A3202 電子メール手順」、ウェブブラウザの利用に関する事項に関する手順書として「A3203 ウェブブラウザ手順 策定手引書」を作成した。

6.4 今後の課題

成果物についての修正実施と、未完成のものが課題である。一般利用者向けウェブ公開手順として「A3204 ウェブ公開手順書」は着手してある。検討に着手したものの作業量の問題から本領域での作業対象外とした「A3211 学外セキュリティ水準低下防止手順」の利用者視点での検討と、未着手の「A3212 自己点検手順書もしくは解説」については、継続した検討と雛形作成が残されている。